



IJCAD 2022 PRO / STD 対応

施工図版 adpack-NEO i 2022

Ver.7.0

概要

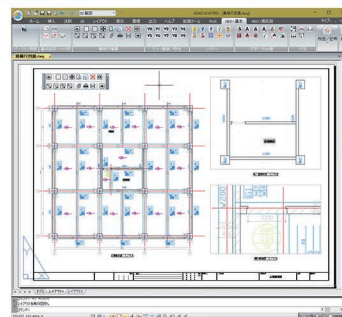
本システムは、意匠図面作成機能に特化した2次元建築CADです。発売十余年に亘るadpack-PROシリーズの経験を生かしてフルモデル・チェンジしました。

立ち上げスピードが速く、IJCAD単体を立ち上げるのと変わらない速さを実感できるので、IJCAD上のユーティリティ・常駐ソフトとしての利用をお奨めします。また、意匠図面作成に必要なコマンド数を最小限に絞っている為にコマンド操作の習得が早く、ダイアログボックスによるパラメータ入力を多用したことにより、分かり易く快適な操作性となっております。

1. 基本機能の強化

図面を効率よく作図・編集するために、使い勝手の良い便利なコマンドを用意しています。例えば、用紙設定コマンドで用紙サイズや縮尺、レイヤー、用紙枠、寸法スタイルの設定が行えるので、あとは縮尺や設定を気にせずに図面の作成に専念できます。他のアプリケーションで作成された図面でも、文字や寸法・レイヤー等の細かな設定は必要ありません。あらかじめ用意されている設定に加えて、足りないものはadpack-NEO i側で自動的に設定します。

個々のコマンドでは、線分を個別の距離指定で複数本一度に平行複写する機能や、図形間を等分割して同一図形をコピーする機能等もあります。さらに、寸法線を簡単に作図して後から寸法補助線の長さを揃える機能や、引出線コマンドの機能の充実も図りました。また、異縮尺編集機能では、異なる縮尺のビューを同一レイアウトに配置し、縮尺を意識せずに異縮尺図面を作図することが可能です。



[異縮尺図面]

[リボンメニュー 基本]



[リボンメニュー 施工図]



2. 躯体図作成機能

柱、梁、壁、開口、独立基礎、杭、スラブ符号等の作図コマンドにより、躯体図を効率よく作成できます。

R Cの柱、梁、壁、開口等は、各ダイアログボックスでサイズや寄り寸法、ふかし、レベルなどのパラメータを入力し、必要な寸法、パラメータに応じた符号を同時に作図します。

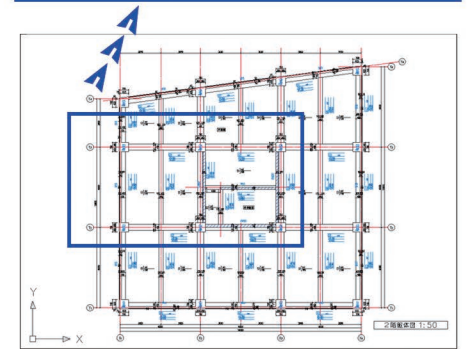
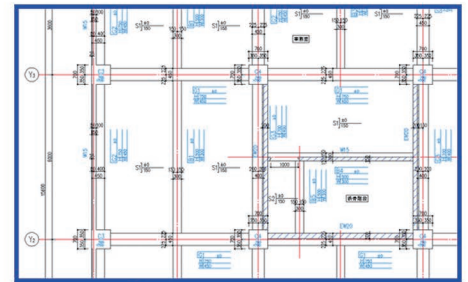
S造では入力の手間を省く為に、多用される鉄骨部材はダイアログボックス内のプルダウンリストから選択できるようになっています。

各部材のダイアログボックス内の設定内容は、「登録」と「読込」ができるので、何回も設定し直す必要がありません。

各部材はオブジェクト化されているので、作図後もオブジェクト編集コマンドで、ダイアログ内の設定内容を変更することができます。変更は部材、寸法、符号に同時に反映されるので、符号の不一致がなくなり、図面作成の効率化を図ることができます。

また、ダイアログボックス内のボタン選択により平面・側面どちらの表現でも作図することができます。

基準線作図も、平面図用の一括作図だけでなく、符号設定により側面図用の基準線一括作図が行えます。



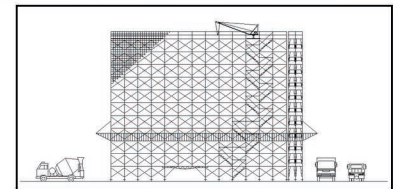
3. 仮設計画図作成機能

足場計画図を効率よく作図するために、足場平面、足場平面R、足場立面、足場側面配置コマンドを用意しています。

足場平面は、配置する2点間を指示することで配置個数が自動計算され、ダイアログボックス内に反映されます。（任意の配置個数に変更することも可能です。）豊富な足場種類の中から配置する形状を選択し、配置方向を指示して配置をおこないます。

足場平面Rは、足場を円形状に配置します。

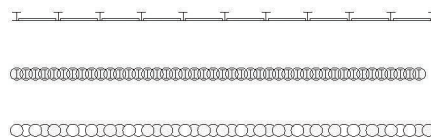
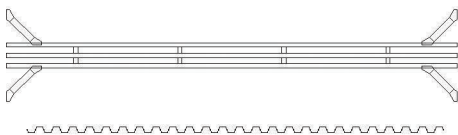
足場立面や側面は、足場平面コマンドと同様に、配置する範囲を指示することで「縦」「横」の配置個数が自動計算されます。他にも、階段平面、階段立面、梁枠、仮囲平面、仮囲立面等のコマンドがあります。



4. 山留工事と重機配置の機能

切梁・火打梁一括作図コマンドは、切梁形状・本数・間隔、つなぎ材形状・間隔、火打材形状・間隔・角度を指定して、切梁と火打梁を一括で作図します。綱矢板工法、親杭横矢板工法、ソイル柱列工法、鋼管柱列工法コマンドは、実行時に表示するダイアログボックス内で各項目を設定し、始点終点を指示して作図します。

また、建設重機の様々なシンボルを用意しています。



動作環境

ソフトウェア(各日本語版): IJCAD 2022 PRO/STD 各64ビット版
オペレーティングシステム(各日本語版): Windows 10/Windows 8.1 各64ビット版
プロセッサ・メモリー: IJCAD 2022 PRO/STDの動作環境
ディスク空き容量: 500MB(IJCADが必要とする容量は除く。)

有償サポート

adpack-NEO iを、より有効にご活用いただくために有償サポートを行っております。
有償サポートの内容および申込方法については <https://www.archdata.co.jp> をご参照下さい。

価格

¥93,500 - (税込) スタンドアロン版